

地域住民の集客を重視し 安定稼働につなげる

ミカド田無店 東京都田無市



田無駅前の立地にグランドオープンした「ミカド田無店」



「もう100台多くても稼働が計算できた」というほどの好調ぶり



東北支援のために一般景品には東北地方の名産品を揃えた

東

京都田無市の『ミカド田無店』の
グランドオープンは4月29日。経

営企業の星和は愛知県内に4店舗の
出店は初。場所は西武線の田無駅前で
ホールを出店しているが、愛知県外への
営業面積は1階、2階の2フロア合わ

せて980平方メートル。4円パチンコ
240台、1円パチンコ80台、パチスロ
120台の総台数400台。

「充分な商圏人口がいて、乗降客も
多い駅前立地。高稼働店を作れる可
能性も高い。この場所ならば、設置台
数はあと100台程度多くても稼働
が計算できた」と金子博昭エリア長は
いう。

東日本大震災の影響で、当初予定
していた機種を導入することができ
ず、本来の構想とは異なる機種構成
でのスタートとなつた。ネオンサインは
点けることができず、折込みチラシや
DMも制限されるなど、オープン前の
販促が充分ではなかつた。

「ここ2~3年、新規出店の成功
事例が少ないと言われており、不安
はありました。私なりの分析ですが、
近年、新店がうまくいかない理由は、
オープンから商圏内の地域住民を集
客できず、その後の稼働につなげるこ
とができるいない」とも大きな
要因だと思います」

オープン狙いのセミプロたちが大挙
して訪れるケースも珍しくない。こう
した客層は定着しないだけでなく、店

の雰囲気にも悪い影響が出る。同店では、オープン時に商圏内に配ったDM
を引換に整理券を配布したほか、プロ
と思しき来店客を排除していくなど、
商圏内の地域住民を集客することに
力を入れた。

「もうひとつ懸念したのが、2階の集
客に苦戦するのではないかということ
です。多層フロアの店は上の階の集客に
苦戦しているところが多いですから」

工夫は1階と2階とで全く違う
ことです。多層フロアの店は上の階の集客に
苦戦しているところが多いですから」
1円パチンコを置かず、4円貸しの
甘デジを設置するというプランもあつ
たが、「違いを明確に出すため」にあ
えてグランドオープン時から1円パチン
コを導入。「グランドオープンから1円
コを打たれるお客様は確実に店のファン
になってくれる」と金子エリア長がい
うように、1円パチンコの遊技客のリピー
ト率、来店頻度は高いという。

オープンして約2週間後には計
的に営業スタイルの変更を行つた。「行
き当たりばつたりでは無く、事前準備
をしつかり行つた施策は必ず効果があ
る」というのが金子エリア長の考え方だ。
同社では、今後も首都圏への出店を検
討しているという。